

調布市消防団 広報誌

CVFBB CHOFU CITY VOLUNTEER FIRE BRIGADE

第11号



令和2年(2020年)1月12日 通算第11号 発行/調布市消防団事務局 東京都調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり西館3階 総合防災安全課内 TEL.042-481-7348



CONTENTS

- 第4分団紹介 P2
&インタビュー
- 消防団の主な活動 P3
- 令和2年 行事予定 P4
- 東京都消防褒賞を
受賞しました P4
- 令和元年度調布市消防団
ポンプ操法審査会 P4

調布市消防団は、本部及び15個分団体制で消防団長以下304名により構成されており、普段は自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。

団員は、火災や河川の氾濫、地震などの災害時に市民の皆様の安全・安心を守るために、日夜訓練活動に取り組んでいます。

調布市消防団長 小津浩彦



新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より調布市消防団の活動に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。昨年4月1日に調布市消防団第十六代団長を拝命いたしました小津浩彦でございます。消防団の任務がますます重要になりつつある今日、調布市の消防・防災の一翼を担う組織の長に就任し、大変身の引き締まる思いと重責を感じております。

多くの被害が発生いたしました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。消防団においては、先の台風19号の接近に伴い、市内を警戒巡回するとともに、市の避難勧告発令にあわせて、指定地域の避難誘導や広報巡回、消防署隊と連携し救助活動を行ったほか、可搬ポンプを駆使し家屋等からの排水を実施いたしました。災害の多い日本において、災害と立ち向かう活動に携わることの厳しさを痛感しております。

また、昨年の、11月16日に令和元年度調布市消防団ポンプ操法審査会を開催致しました。訓練を重ね、各分団とも規律、技術において大変素晴らしい内容の審査会でありました。これもひとえに、各分団の日頃からの訓練の賜物であり、災害が発生した際には、迅速に対応できるような、知識・技能により一層磨きをかけた成果であります。

我々消防団においては、調布市民の安全・安心を念頭におき、消火活動をはじめ、いっどのような形で起こるか分からない災害に対して対峙していくために、消防・防災に関する知識や技術を高め、火災発生時にもとり、地震や風水害といった大規模災害発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、これまで以上の訓練を重ね、努力と研鑽に努めるとともに、関係機関の皆様との連携をより一層強化して参る所存でございます。そして、「郷土愛護」の精神のもと、より地域に根差した消防団を目指して参ります。

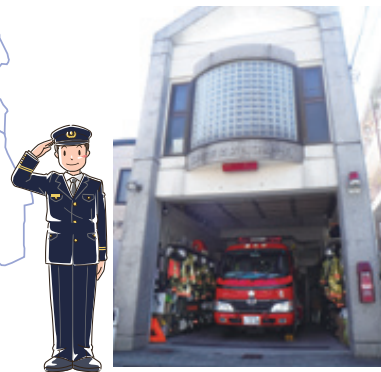
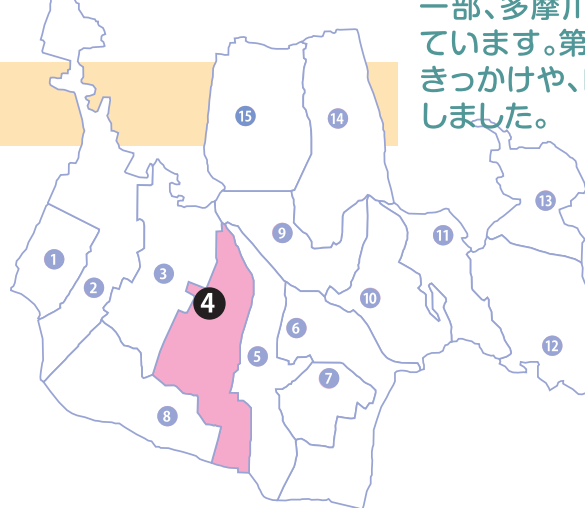
結びに、市民の皆様におかれましては、調布市消防団へのより一層の御理解と御協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、皆様の今年一年が、より佳き年になるよう心より御祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

第4分団紹介 & インタビュー

調布市の各地域を担当する分団の紹介&インタビューです。第8号から1個分団ずつ、活動写真と消防団員の皆さんへのインタビューにより紹介をしていきます。



第4分団は小島町1丁目一部・2丁目・3丁目一部、布田1丁目・4丁目・5丁目・6丁目一部、染地1丁目一部、多摩川6丁目一部・7丁目一部、調布ヶ丘1丁目・4丁目一部、多摩川河川敷一部を担当地域としています。第4分団の皆さんに、入団したきっかけや、日々の活動等について取材をしました。



分団長 増田 健治 さん

Q1: 消防団に入団したきっかけを教えてください。

A1 調布駅前に会社を構えて2~3年後にお声掛け頂きました。母が駅前の商店街活動に参加するようになったあたりから私の存在を知り、誘うタイミングを伺っていたようです。最初に訓練を見学させて頂いたときの感想は、「地域貢献につながる大人の部活」といったイメージでした。

Q2: 消防団としての地域での活動を教えてください。

A2 主だった活動としては、お祭りやイベントにおける警備と春・秋・歳末の火災予防のための広報巡回になります。警備では、調布市花火大会や布多天神社例大祭、地域内小学校盆踊りなどの警備を行っています。火災現場での消火活動だけでなく、地域活動も含めて「消防団活動」として認識しています。

Q3: 消防団活動の中で印象に残っていることはありますか。

A3 2011年の東日本大震災のときの活動です。家族や会社の安全を確認するための分団小屋参集、当日の災害対応やその後数日間の輪番停電広報巡回など、普段の訓練の重要性や消防団が地域にあることの意義を改めて自分の中で見直すきっかけとなりました。

Q4: 地域、そして市民の皆さんにどんなことを伝えたいですか。

A4 人と人が関わりあって「まち」というものが作り上げられている中で、このような地域への関わり方もある、ということです。生業がありながらの活動は大変な面もありますが、消防団としての楽しさや意義を感じられる場面も間違いなくありますので、ご興味を持たれた方は是非見学からでも参加してみたいと思います。



副分団長 太田 聡則 さん

Q1: 消防団に入団したきっかけを教えてください。

A1 現在、脱サラして事業を営んでおりますが、サラリーマン時代に防火対象物の届け出・消防設備点検・防火対象物点検などで消防とは多くの関わりがありました。各種消防の資格を受験取得した際に消防団員の優遇措置というものがあることを知り、優遇されるほどの団体とはどのようなものかと興味を持ちました。いざ脱サラ後、商工会等に入会すると先輩方の多くが消防団員であることに驚き、周囲に興味あることを話し、入団することとなりました。

Q2: 消防団の活動について教えてください。

A2 消防団は災害に備え、訓練や研修、警戒活動を行っています。常備消防とは異なり団員はそれぞれ生業をもっていますのでそのほとんどが夜間や休日に多くなります。いざ発災時は日時間問わずであり、全ての団員がすぐに駆けつけられるわけではありませんので、全ての団員が知識・技能を高めておく必要があります。

Q3: 日々の訓練（操法訓練等）、機械器具点検について教えてください。

A3 ひとりで災害に対処することはできません。下命、受令の必要から規律に関する訓練があります。また団員それぞれが必要な役割を果たせるよ

Q4: 消防団の魅力ややりがいについて教えてください。

A4 人とのつながりが大変多く広がり、さらには深くなります。現役では本団4名をはじめ15個分団300名のほか、消防団をご卒業されたとても多くのOB、さらにはそのご家族、地域のみなさま、他市の消防団員またそのOBと無限に広がっていきます。活動は決して楽で楽しいものだけではありませんが、それだけに同じ思い、同じ釜の飯を食った同志ですので、そのつながりの深さは例えようがありません。



団員 井上 一格 さん

Q1: 消防団に入団したきっかけを教えてください。

A1 小島町地域の青壮年の集まりに参加して、父と一緒に活動した方、同期だった方、消防委員の方に誘われ入団させていただきました。はやくに父を亡くしたので先輩方に言われた「君のお父さんと一緒に消防団をやったよ」という言葉が何だかとても嬉しかったのを覚えています。

Q2: 消防団に入団して、ご自身に変化はありましたか。

A2 防災意識が高まったこと、火災予防を意識して生活するようになりました。また、活動を通して今まで交流のなかった方々との親交が深まったこと、歳をとっても付き合っていける地元の仲間ができたことが私の一番の財産になりました。

Q3: 日々の消防団活動をどのように感じていますか。

A3 消防団員として活動したのは7年目の未熟者ですが、それでも色々な火災や事故、天災が私たちの町調布で起こり、経験しました。次の災害や火災はいつ起こるかわかりませんが、必ず起こるものと肝に銘じ、皆様の安全と家族の安全、自分の安全を守れるように、これからも消防団活動に真摯に取り組んでいきます。

Q4: 消防団活動の中で印象に残っていることはありますか。

A4 先般の台風は、本当に消防団員として、家族を守る家長として、自営業を営む者としてどの立場でみても本当に怖かったです。振り返ってみて、あの時もっとより良い対応ができたのではないかと考えてしまいます。このたび、被災された皆様の一日も早いご復興を心よりお祈り申し上げます。

消防団の特徴とは？

消防団は日々訓練を行いながら、災害に備えて研鑽を行っています。消防団の特徴を生かし、地域の災害対応にあたっています。

① 消防団員は、生業を営みながら活動しています。

消防団員は、普段自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。

② 消防団は、災害に備え、訓練・研修・警戒活動を行っています。

消防団員は、基本操法訓練、総合防災訓練、総合水防訓練、文化財防火演習など、災害に備え様々な訓練を行っています。また、災害の防止に向け、警戒活動も行っています。

③ 消防団は、地域に密着した活動ができます。

消防団員は、自分の地域は自分で守るという「郷土愛護」の精神のもと活動しています。自分達の地域の特性や情報に詳しく、逸早く災害現場に駆け付けることができ、災害対応にあたることができます。また、地域防災訓練への協力や、祭礼の警戒も行っています。



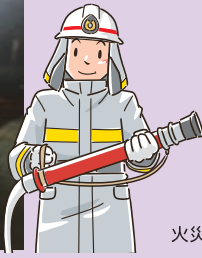
消防団の主な活動

火災・災害活動

火災や災害時は、指令により分団詰所に参集し、現場へ急行。消火活動や災害対応を行います。



災害活動



火災出動



訓練・点検

規律訓練、基本操法訓練、消防演習、文化財防火演習等や資機材の点検など、いざという時のために様々な訓練を実施しています。



文化財防火演習



総合水防訓練



東京消防庁大規模テロ総合訓練



出初式



新入団員研修



幹部団員研修



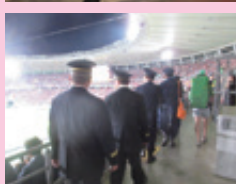
飛行場訓練

警戒活動

火災・災害などの発生時はもとより、火災や災害を未然に防ぐための警戒活動を行っています。



ラグビーワールドカップ会場警戒



サマーフェスティバル警戒



花火大会警戒



視察・表彰など



北多摩地区消防大会



表彰式



利根川水系連合・総合水防演習視察

- ・北多摩17市による連携強化を図る北多摩地区消防大会
- ・火災対応や防災対策など消防団の能力向上を図るため、視察研修を実施しています。
- ・消火活動や地域の防災訓練の協力により消防署から表彰を受けました。



東京都消防褒賞受賞

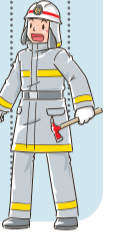
令和元年11月27日に、調布市消防団倉田副団長、第1分団村山分団長の2名が東京都議会議事堂1階都民ホールにて、東京都消防褒賞を受賞しました。この表彰は、長年にわたり研鑽を重ねた消防団および消防団員の功労を称え、東京都知事より賞されるものです。



令和2年の主な予定

1月12日	出初式
1月下旬	文化財防火演習
2月16日	消防ポンプ車操縦技能講習会
3月1～7日	春の火災予防運動・警戒
3月2日	機械器具特別点検
4月1日	消防団任命式
4月下旬	規律訓練・機関員訓練
5月中旬	総合水防訓練
9月下旬	北多摩地区消防大会
10月中旬	総合防災訓練
11月9～15日	秋の火災予防運動・警戒
11月中旬	震災消防訓練
12月25～31日	歳末特別警戒

(予定は変更される場合があります。ほか、地域の防災訓練や催事等にも参加しています。各行事の詳細は消防団事務局までお問い合わせください。)



調布市消防団では2年に1度、調布市消防団ポンプ操法大会(審査会)を実施しています。操法とは、消防活動の基礎となるポンプ車の操作や器具操作連の動作を言います。審査会では、調布市消防団全15個分団が、操作開始から放水により「火点」と呼ばれる標的を倒すまでのタイムや動作の正確性、規律を競い合いました。

令和元年度調布市消防団ポンプ操法審査会

令和元年11月16日(土) 消防大学校

全15個分団の操法が終わり、タイムと動作の正確性、規律等の項目で特に秀でた上位5個分団が表彰されました。

本審査会では第9分団が見事に優勝を果たしました。



順位	
優勝	第9分団
第2位	第7分団
第3位	第6分団
第4位	第10分団
第5位	第15分団



防災・安全情報メールに登録を!

登録されたパソコンや携帯電話に下記の情報が配信されます。

- 市からのお知らせ ●気象情報
- 地震情報 ●災害情報 ●防犯情報

◆登録方法

下記アドレスまたは右のQRコードに空メールを送信して下さい。

c-bousai@sg-m.jp



問い合わせ: 調布市総合防災安全課 042-481-7346



していますか?

家具類の転倒・落下・移動防止対策

近年発生した大きな地震で怪我をした原因を調べると、約3割から5割が、家具類の転倒・転落・移動によるものでした。家具類の転倒・転落・移動は、避難通路を塞ぎ、火災を引き起こす原因にもなります。大切な家族を守るため、対策を行いましょ。



詳しくは東京消防庁のホームページをご覧ください。

お問い合わせ: 調布消防署 ☎042-486-0119

東京消防

検索

東京消防庁

消防団員 募集!

調布市消防団と地域のみなさまがあなたの力を待ち望んでいます!



■お問い合わせ

調布市消防団事務局
(調布市役所総合防災安全課内)

☎ 042-481-7348

入団資格

調布市に居住又は勤務しており、年齢18歳以上の健康な方